

放射線レポート及び遠隔読影システム導入仕様書

■ 調達物品名

- | | | |
|---|-----------------|------------------|
| 1 | レポートシステム | ResultManager 一式 |
| 2 | 遠隔読影依頼システム | SYNAPSE GW 一式 |
| 3 | MWMサーバシステムオーダ連携 | MWMサーバシステム 一式 |

■ 納期： 令和4年12月末日

■ 本書の構成内容

機能要件

- 1 レポートシステム機能(ソフトウェア)
- 2 遠隔読影システム機能(ソフトウェア)
- 3 MWMサーバシステム機能(ソフトウェア)
- 4 レポートシステム機能(ハードウェア)
- 5 遠隔読影システム機能(ハードウェア)
- 6 設置条件及び保守条件

SYNAPSE Result Manager (レポートシステム)仕様書	
1	放射線読影レポートシステム機能(ソフトウェア)は以下の要件を満たすこと。
1-1	レポート記入枠作成機能は以下の要件を満たすこと。
1-1-1	上位システム(MWMサーバ)からオーダー情報を受け取り、レポート未記入枠が作成できること。
1-1-2	上位システム(MWMサーバ)から受け取ったオーダー情報をSYNAPSE(PACS)へ送信できること。
1-1-3	SYNAPSE(PACS)から患者情報、検査情報を取得し、未記入レポート枠を作成できること。
1-1-4	手入力で患者、検査情報を入力することで、未記入レポートを作成できること。
1-2	レポートリスト表示(レポート検索)機能は以下の要件を満たすこと。
1-2-1	以下の項目をリストに表示できること。 ・レポートステータス(未記入、読影中、確定済、など) ・患者ID、カナ患者名、漢字患者名、性別、生年月日 ・検査種別、モダリティ、部位 ・依頼科、依頼医 ・入外区分 ・オーダー番号 ・優先度(緊急、至急、など) ・読影区分 ・臨床診断名 ・現在の記入者、保存者、確定者 ・初回最終確定者 ・検査日、確定日、最終更新日 ・症例登録、印刷、遠隔依頼ステータス ・重要レポートステータス ・レポート確定後の画像枚数変更ステータス ・所見、診断、報告者メモ、検査コメント、検査目的、患者メモ など
1-2-2	リストに表示する項目および項目の並び順を変更できること。
1-2-3	レポートステータス(未記入、読影中、確定済 など)をリスト上で色別表示できること。
1-2-4	リスト上の未記入、読影中、確定済のレポート件数を表示できること。
1-2-5	以下の内容でレポートを検索できること。 ・リスト表示項目 ・検査日を本日、本日+昨日、一週間、一ヶ月間、任意の日、期間指定、などで指定 ・レポートに付与したキーワード(タイプ別:施設、所属科、個人) ・年齢の範囲指定、マンモテンプレートで入力したカテゴリー分類、乳房の構成
1-2-6	ユーザごとに検索条件を保存し、それを呼び出して検索できること。さらに保存された検索条件ごとに、1-2-2～1-2-4を指定できること。
1-2-7	SYNAPSE(PACS)への画像到着状況、画像枚数を管理でき、リスト上に表示およびリスト上で検索できること。
1-2-8	電子カルテにて、検査の依頼医が確定レポートを参照したかどうかを管理でき、リスト上に表示およびリスト上で検索できること。
1-2-9	リスト上のレポートを選択して、レポート作成を開始できること。
1-2-10	SYNAPSEビューア上からレポート作成を開始できること。
1-2-11	レポート作成中の画面からリスト表示画面に戻ることなく、連続してレポート作成できること。
1-2-12	リスト上の確定されたレポートを選択して、レポートを参照できること。
1-2-13	レポート参照の画面からリスト表示画面に戻ることなく連続してレポート参照できること。
1-2-14	リスト上のレポートを選択して簡易的なレポート内容が記載されているサマリ画面が表示できること。
1-2-15	サマリ表示画面はレポートリスト上にて上下キーの操作で表示切替できること。
1-2-16	リスト上のレポートを選択して、レポートを印刷できること。
1-2-17	レポートリストで選択したレポートを一括確定できること。
1-2-18	レポートリストで選択したレポートの「読影区分」を変更できること。また、施設運用に合わせて任意の値で汎用列を更新できること。
1-2-19	レポートをレポートリスト表示画面内で分類フォルダに分類し、分類フォルダ内のリストが表示できること。
1-2-20	分類フォルダは、施設用/所属科用/個人用のいずれかで管理できること。
1-2-21	表示中のリストをCVS形式でファイルに出力できること。
1-3	レポート作成機能は以下の要件を満たすこと。
1-3-1	SYNAPSE(PACS)と連動し、選択されたレポートの対象検査の画像(ビューア)を表示できること。
1-3-2	レポート作成画面にて、患者情報・検査情報を参照できること。
1-3-3	レポート作成中の患者に対するメモを入力/編集、および参照できること。(本情報は、レポート横断で管理されること。)
1-3-4	患者に対するメモに添付資料を貼り付けできること。
1-3-5	レポート作成画面にて、オーダー情報を参照できること。
1-3-6	検査目的、検査コメントは、フリーテキストで入力(追記/編集)できること。
1-3-7	レポート作成画面で、所見、診断を入力できること。また、所見、診断とは別に、報告者メモを設けてフリーコメントが入力できること。また、設定により放射線科のみ使用可能なメモ欄を表示できること。
1-3-8	事前に登録された定型文を利用して所見、診断を入力できること。
1-3-9	事前に登録された定型文を利用して報告者メモを入力できること。
1-3-10	入力欄にカーソルがある場合には、カーソル位置に定型文を挿入できること。
1-3-11	所見、診断、報告者メモの定型文を一括で挿入できること。
1-3-12	定型文は、以下の分類で登録され、選択できること。
1-3-13	入力ボックスを含めた定型文を挿入することができ、入力ボックスに任意の文字を入力できること。
1-3-14	ユーザが自由に作成した選択肢から選択する形式(プルダウン形式)の入力領域を持つ定型文で入力できること。
1-3-15	レポート入力中に定型文タイトルや内容に前方一致した定型文一覧がサジェスト表示され選択できること。
1-3-16	過去レポート一覧には、レポートが未記入、未確定の検査も含むこと。
1-3-17	患者の過去レポート一覧を表示し、選択したレポートの内容を参照できること。
1-3-18	過去レポートから所見、または診断をコピーし、作成中のレポートに貼り付けできること。
1-3-19	過去レポートから所見と診断を一括でコピーし、作成中のレポートに貼り付けできること。
1-3-20	過去レポートからテンプレート内容をコピーし、作成中のレポートに貼り付けできること。
1-3-21	過去レポートの参照画像から以下の操作ができること。 ・現在レポートへのコピー ・別画面上に該当画像を表示し、前後の画像参照
1-3-22	所見のコピー時に、予め設定された内容に従って、自動的に引用句を付与できること。
1-3-23	所見、診断、報告者メモは、テキストに以下の装飾ができること。 ・スタイル、サイズ、色 ・太字、斜体、下線 ・インデント増減
1-3-24	所見、診断、報告者メモは、テキスト入力時にUndo、Redoできること。
1-3-25	SYNAPSE(PACS)上の画像を、参照画像(キー画像)としてレポートへ貼り付けできること。
1-3-26	汎用ファイル(bmp、jpg)の画像を、参照画像(キー画像)としてレポートへ貼り付けできること。
1-3-27	事前にユーザが登録したシエーマ画像をレポートへ貼り付けることができること。

1-3-28	シェーマ画像は、以下の分類で登録され、選択できること。 ① 全検査種別共通、検査種別毎 ② 全部位共通、部位毎
1-3-29	レポートに貼り付けた参照画像・シェーマ画像に対して、以下のアノテーションを描画できること。 ・テキスト、直線、矢印、楕円、三角、×、引き出し線(テキスト付き矢印)、バレット(定型句付き矢印/楕円)、スタンプ(定型句(主に記号))、フリーハンド アノテーションは、以下の変更ができること。
1-3-30	・テキスト：フォント、サイズ、色、スタイル(太字、斜体、下線) ・図形：線幅、線種、色の指定、拡大・縮小、回転、塗りつぶし、網掛け など
1-3-31	アノテーションの図形には、ユーザーが自作した任意の図形も利用できること。
1-3-32	貼り付けた参照画像・シェーマ画像にコメントを付与できること。
1-3-33	貼り付けた参照画像・シェーマ画像は、レポート作成画面内にサムネイルで表示できること。また、表示順を変更できること。
1-3-34	貼り付けた参照画像を所見、診断欄にD&Dまたは右クリックメニューから選択することで参照画像番号が自動入力されること。 また参照画像の表示順の変更や削除を行うと所見や診断の参照画像番号も連動すること。
1-3-35	レポートに添付資料を貼り付けできること。
1-3-36	作成中のレポートに事前に登録されたキーワードを付与できること。
1-3-37	キーワードは、以下の分類で登録され、選択できること。 ・施設用、所属科用、個人用
1-3-38	作成中のレポートは自動で定期的に保存され、異常終了した場合のレポート作成再開時に保存した内容を復帰できること。
1-3-39	作成中のレポートを一時保存できること。一時保存したレポートは、保存したユーザーあるいは別のユーザーが修正できること。
1-3-40	作成が終了したレポートを確定保存できること。その際、ユーザごとに確定レポートの表示イメージ(プレビュー画面)を表示するか否かを選択できること。
1-3-41	設定により、確定時に自動で専用プリンタへレポートを出力できること。
1-3-42	システム設定により、一次/二次/三次/四次/五次のレポート確定運用を行えること。
1-3-43	システム設定により、レポートの確定を取り消し、再度記入可能な状態に戻せること。また、管理者は未記入状態に戻せること。
1-3-44	確定取消後、再確定する毎に、レポートの版数が更新されること。
1-3-45	レポートの版数は、レポート参照画面およびレポート印刷で確認できること。
1-3-46	一旦、確定されたレポートは履歴管理を行い、確定解除が行われた場合も確定時のレポートを保持し、過去履歴の確定レポートとして
1-3-47	レポート履歴管理において、前後の版の差分を表示できること。
1-3-48	入力あるいは編集中のレポートに対して、他端末から入力あるいは変更が行われないための排他管理ができること。
1-4	レポート参照機能は以下の要件を満たすこと。
1-4-1	確定されたレポートは、院内ポータルSCOPEからWeb参照参照することができること。また、SYNAPSE (PACS)患者マスタージャケットで参照できること。
1-4-2	確定レポートには以下の内容を表示できること。 [患者情報] ・患者ID、カナ患者名、漢字患者名、性別、生年月日、検査時年齢 など [検査情報] ・オーダー番号、検査種別、部位、全部位、モダリティ、検査日、検査優先度、造影剤、検査目的、検査コメント、依頼科、依頼医、病棟 など [レポート内容] ・報告者、記入日、所見、診断、報告者メモ、参照画像(サムネイル画像)、版数 など
1-4-3	一次/二次/三次/四次/五次確定を行う場合は、一次で公開するか、二次で公開するか、三次で公開するか、四次で公開するか、五次で公開するか、を設定できること。
1-4-4	レポートに貼り付けられた参照画像(キー画像)のサムネイルが表示できること。
1-4-5	貼りつけられた参照画像を別画面で表示できること。
1-4-6	別画面で表示された状態で、画面を閉じずに、番号順に前後の参照画像も表示できること。
1-4-7	SYNAPSE (PACS)ビューワがインストールされている端末上で参照する参照画像がSYNAPSE (PACS)画像の場合、その画像を含むシリーズを別画面に表示でき、かつ参照画像のスライス位置で初期表示できること。
1-4-8	SYNAPSE (PACS)ビューワがインストールされている端末上で参照する参照画像がSYNAPSE (PACS)画像の場合、その検査のSYNAPSE画像(ビューア)を表示できること。
1-4-9	確定レポートを印刷できること。
1-4-10	確定レポートの印刷イメージをPDF形式で出力できること。
1-5	電子カルテへ結果レポートの出力を行い、既存運用を踏襲し、確定レポートから既読操作ができること。
1-5-1	レポート印刷機能は以下の要件を満たすこと。
1-5-2	印刷部数、印刷先プリンタを選択して、レポートを印刷できること。
1-5-3	複数の印刷フォーマットから、使用するフォーマットを選択してレポートを印刷できること。
1-6	レポートを画面上に表示(プレビュー)し、印刷イメージを確認できること。
1-6-1	遠隔読影事業社との読影依頼連携は以下の要件を満たすこと。
1-6-2	合同会社HAMA-RADネットワークへ読影依頼を実施した読影結果を自動で取込みが行えること。
1-7	読影結果を確定取込を行い、院内ポータル(SCOPE)にて参照が行えること。
1-7-1	ユーザー認証機能は以下の要件を満たすこと。
1-7-2	ユーザー認証は、ユーザーIDとパスワードで行えること。
1-7-3	ユーザーID、パスワードでレポート作成、表示、管理等の権限が制御でき、レポート改ざん防止、患者のレポートデータを保護できること。 ユーザ毎に以下の権限を付与することができること。 ① レポート表示 … 確定したレポートの表示が可能。記入や変更は出来ない。 ② レポート作成 … レポートの未記入枠を作成することが可能。 ③ レポート一次確定 … レポートを記入し、一次確定することが可能。 ④ レポート二次確定 … レポートを記入し、一次/二次確定することが可能。 ⑤ レポート三次確定 … レポートを記入し、一次/二次/三次確定することが可能。 ⑥ レポート四次確定 … レポートを記入し、一次/二次/三次/四次確定することが可能。 ⑦ レポート承認 … レポートを記入し、全てのステータスで確定することが可能。 ⑧ レポート印刷 … レポート表示に加えて、レポートの印刷が可能。 ⑨ 管理者 … 設定の変更、各マスタの管理を行うことが可能。
1-7-4	権限の変更はユーザーにて設定できること。
SYNAPSE GW (DICOM画像検像システム)	
2	DICOM画像検像システム(ソフトウェア)は以下の要件を満たすこと。
2-1	DICOM通信機能は以下の要件を満たすこと。
2-1-1	DICOM Storage SCPを使用した画像受信機能を有すること
2-1-2	DICOM Storage SCUを使用した画像送信機能を有すること
2-1-3	DICOM Q/R SCUを使用した画像検索および取得機能を有すること
2-2	検査表示機能は以下の要件を満たすこと。
2-2-1	受信した検査画像を検査/シリーズ単位で表示する機能を有すること
2-2-2	検査単位で患者情報、検査情報、滞留時間を表示する機能を有すること
2-2-3	シリーズ単位で送受信情報(受信成功、受信失敗、送信成功、送信待ち)、滞留時間、画像サムネイル、シリーズ情報、画像枚数、検査装置名、送受信時刻を表示する機能を有すること

2-2-4	検査リストを検索条件(患者ID、AccessionNo、検査日付など)に基づいてフィルタリングする機能を有すること
2-2-5	検査表示順を検査受信時刻でソートする機能を有すること
2-2-6	シリーズ表示順をシリーズNo.、モダリティ、部位、シリーズ受信／送信時刻でソートする機能を有すること
2-3	画像修正機能は以下の要件を満たすこと。
2-3-1	患者IDに対して施設IDを自動で付与する機能を有すること
2-4	画像表示機能は以下の要件を満たすこと。
2-4-1	シリーズ単位で画像を表示する機能を有すること
2-4-2	検査単位で画像を表示する機能を有すること
2-4-3	画像表示分割数を変更する機能を有すること
2-4-4	画像のW/L値を変更する機能を有すること
2-4-5	画像のW/L値を変更する際に、プリセットを利用する機能を有すること
2-4-6	画像を拡大／縮小する機能を有すること
2-4-7	画像をページングする機能を有すること
2-4-8	画像サムネールを利用して画像並び順を変更する機能を有すること
2-4-9	任意DICOMタグを利用して画像並び順を変更する機能を有すること
2-4-10	画像表示画面内で前後の検査および前後のシリーズを表示する機能を有すること
2-5	画像送信機能は以下の要件を満たすこと。
2-5-1	遠隔読影会社サーバーを指定して自動／手動で画像を送信する機能を有すること
2-5-2	自動画像送信時に滞留時間を指定する機能を有すること
2-5-3	画像送信時に、新規検査／シリーズ／画像(Study／Series／SOP Instance UIDを再発番)として送信する機能を有すること
2-5-4	送信時刻を指定する機能を有すること
2-5-5	送信失敗時に自動で再送する回数を設定する機能を有すること
2-6	画像取込機能は以下の要件を満たすこと。
2-6-1	患者IDなどをキーにしてDICOMサーバーを検索し、画像を取得する機能を有すること
2-6-2	画像を受信した際に、SNAPSEサーバーから過去画像を自動で取得する機能を有すること
2-6-3	DVD／CDなどのメディアからDICOM画像を取り込む機能を有すること
2-6-4	DVD／CDなどのメディアからDICOM画像を取り込む際に、患者IDに対して施設IDを付与する機能を有すること
2-7	画像削除機能は以下の要件を満たすこと。
2-7-1	画像を検査／シリーズ単位に手動で削除する機能を有すること
2-7-2	送信が成功した画像を自動で削除する機能を有すること
2-7-3	自動削除される画像を保護する機能を有すること
2-8	セキュリティ管理機能は以下の要件を満たすこと。
2-8-1	画像受信／送信ログを保存する機能を有すること
2-8-2	操作ログ(受信、送信、インポート、削除、データ変更、印刷)を保存、検索、エクスポートする機能を有すること
MWMサーバシステム	
3	MWMサーバシステム(ソフトウェア)は以下の要件を満たすこと。
3-1	オーダ連携機能は以下の要件を満たすこと。
3-1-1	上位システム(SBS情報システム)からオーダ情報を受け取り連携が行えること。
3-1-2	上位システム(SBS情報システム)からオーダ情報を受け取った情報をレポートシステムへ情報連携が行えること。
3-2	セキュリティ
3-2-1	IDとパスワードによるユーザー認証
3-2-2	自動ログオフ(一定期間操作がないとシステムログオフ)
3-3	システム連携
3-3-1	患者情報受信(HISからの情報送信)
3-3-2	患者情報受信(RISから問い合わせ方式)
3-3-3	オーダ情報受信(シェーマ含む)
3-3-4	移動情報受信(現在の患者所在をRISで明示し病棟撮影等に利用)
3-3-5	実施情報送信(カルテ記載や会計情報に利用)
3-3-6	実施情報送信(再送信)
3-3-7	状態更新送信(RIS受付情報をHISに送信、オーダロックタイミングに利用し撮影時にHISとRISデータの整合を担保)
3-3-8	レポートシステム記入枠連携
3-3-9	モダリティ接続(送信)DICOM MWM
3-3-10	モダリティ接続(受信)DICOM MPPS
3-3-11	モダリティ接続 メーカー独自仕様
3-3-12	SYNAPSE連携 HL-7 IF
3-4	患者情報管理
3-4-1	患者基本情報、患者プロフィール情報の新規登録および変更
3-4-2	患者基本情報、患者プロフィール情報の表示、最新表示
3-4-3	フリーコメント、定型文による患者コメント登録・変更
3-5	オーダ情報登録
3-5-1	検査オーダの修正(検査日、検査項目、依頼医、依頼科、依頼フリーコメント、明細フリーコメント)
3-5-2	検査オーダの削除
3-6	受付(受付窓口での機能)
	検査受付
3-6-1	・磁気カードまたはバーコードからの患者ID読み取り ・キーボードからの患者ID入力 ・リストからの患者選択(複数選択も可とする)
3-6-2	患者受付取消
3-6-3	検査リストに以下の項目が表示可能 患者情報(患者ID、患者氏名、年齢、性別、感染症の有無)、検査情報(予約日時、検査名、依頼科、病棟)、検査の優先度、読影の有無、放射線他検査等
3-6-4	検査リストの検索機能(ID、検査日、ステータス、検査種等)
3-6-5	検索条件の初期値の設定・変更機能(クライアント毎)
3-6-6	依頼詳細内容表示
3-6-7	検査リストの自動・手動更新及び自動更新間隔の設定
3-6-8	予約一覧の印刷・CSV出力
3-7	検査待ちリスト
3-7-1	検査リストの検索機能(ID、検査日、ステータス、検査種等)
3-7-2	検索条件の初期値の設定・変更機能(クライアント毎)
3-7-3	検査リストの自動・手動更新及び自動更新間隔の設定
3-7-4	検査リストの一覧の印刷・CSV出力
3-7-5	選択オーダの依頼詳細内容表示
3-7-6	受付コメントの表示
3-7-7	緊急区分の表示

3-7-8	検査リストから実施入力 of 展開機能 ・磁気カードまたはバーコードからの患者ID読み取り ・キーボードからの患者ID入力 ・検査リストからのオーダー選択
3-8	検査実施
3-8-1	検査条件のデフォルト設定
3-8-2	検査使用物品登録(照射録、会計情報、Report連携で利用)
3-8-3	依頼詳細内容表示
3-8-4	検査の実施、中止選択
3-8-5	検査変更、検査追加、検査削除
3-8-6	検査実績修正
3-9	帳票
3-9-1	検査予定表出力

SYNAPSE Result Manager (レポートシステム)仕様書	
4	放射線読影レポートシステムサーバ(ハードウェア)は以下の要件を満たすこと。
4-1	Result Manager STサーバは以下の要件を満たすこと。
4-1-1	CPUは、Xeon E-2276G 3.8GHz, 12M キャッシュ, 6C/12T, ターボ (80W) x1以上であること。
4-1-2	32GB以上のメモリを搭載すること。
4-1-3	ハードディスクは2TB SATA x4(RAID5 + HS) 以上で構成すること。
4-1-4	OSは、WindowsServer IOT 2019 Standard以上で構成すること。
4-2	モニター/キーボードは以下の要件を満たすこと。
4-2-1	サーバユニットを管理できるモニター/キーボードコンソールは、既存SYNAPSEの共有すること。
4-3	無停電電源装置は以下の要件を満たすこと。
4-3-1	ラック内に搭載されたサーバの総電源容量を確保できる無停電電源装置を有すること。
4-4	その他以下の要件を満たすこと。
4-4-1	搭載したラック内のサーバやUPS等と通信できるネットワークスイッチを準備し接続及び設定を行うこと。
4-4-2	上記各サーバを全てサーバラックに搭載すること。
SYNAPSE GW (DICOM画像検像システム)	
5	DICOM画像検像システム(ハードウェア)は以下の要件を満たすこと。
5-1	SYNAPSE GWは以下の要件を満たすこと。
5-1-1	CPUは、Intel(R) Core(TM) i5-10500(6C/3.1GHz/12M)以上で構成すること。
5-1-2	8GB以上のメモリを搭載すること。
5-1-3	ハードディスクは、512GB SSD 以上で構成すること。
5-1-4	OSは、Windows 10 IoT Enterprise LTSC 2019Value以上で構成すること。

設置条件及び保守条件	
6	設置条件及び保守条件については以下の要件を満たすこと。
6-1	設置条件は以下の要件を満たすこと。
6-1-1	機器の搬入、据え付け、配線、調整については当院の業務に支障を来さないよう十分な打ち合わせを行うこと。また、設置等に関わる日程表を提出すること。
6-1-2	解体、搬出、搬入、据付、配線、配管、調整及びその他増改築付随工事については当院の診療業務に支障をきたさないよう当院職員の指示に従うこと。
6-1-3	既設電源の変更を必要とする場合は、事前に確認し必要に応じて変更点などを提案すること。また、費用を見積りに含めること。
6-1-4	調達物品の設置に関しては、落札業者の責任において行うこと。
6-1-5	本システムの設置場所は当院が指定した場所へ設置すること。
6-1-6	搬入運搬時および据付工事の際、過って当院の機器・設備・建物等に損傷を与えた場合は、落札業者の責任において現状に復旧
6-1-7	搬入運搬時および据付工事の際、過って購入機器に損傷を与えた場合は、落札業者の責任において新品と交換をすること。
6-1-8	必要に応じて、耐震対策を講ずること。
6-1-9	本稼働に必要な重要タスクを明確にした導入スケジュール表を提示すること。各タスクには、実施責任者を明確にすること。
6-1-10	機器等の設置作業日程および体制を事前に提示し、搬入口、搬入経路及び搬入時間に関しては、当院担当者と協議を行い、その
6-1-11	導入機器の搬入、据付け、調整等は当院の日常業務に支障をきたさないこと。また、搬入、据付に当たっては必要に応じて養生を行
6-1-12	現行機器との接続と同様に接続し、接続費用を含めること。
6-1-13	PC等のデータ記憶の可能性のある機器については、データ消去、情報の流出等に細心の注意を払い確実な作業を行うこと。
6-2	保守条件は以下の要件を満たすこと。
6-2-1	納入後、1年間(設置稼働開始から)の修理・故障・部品交換は無償保証に対応すること。
6-2-2	納入後1年経過後の有償期間においても、部品の供給や修理が速やかに行え、検査業務に支障がないようにすること。
6-2-3	納入から、7年目(保証期間1年+6年)までのハード及びソフトウェア、無停電電源装置の保守契約が可能であること。
6-2-4	障害が発生した場合、24時間連絡が可能であること。
6-2-5	業務システムの操作方法等に質問に対するサポート体制が24時間可能であること。
6-2-6	故障連絡体制を整備し、24時間365日対応できる体制であること。
6-2-7	故障などの緊急時において、迅速な対応が可能であること。また、翌稼働日には本システムを使用可能な状態にするのを基本とする
6-2-8	ハード及びソフトウェアに起因する障害への速やかなサポート体制が実現されていること。そのため、障害受付窓口が24時間受付対応が可能であること。
6-2-9	サーバ保守については、故障時の対応修理だけでなく、定期点検を含む保守が出来ること。また、リモート監視により24時間監視する体制を持ち、サーバ障害状況を監視できること。
6-2-10	納入機器には、故障時等の緊急連絡先を記載したラベルを用意すること。
6-2-11	保守を請け負うものは、医療機器修理業の許可を受けたものであること。
6-2-12	保証期間中に生じたトラブルは十分に把握し期間終了前に完全な機能の状態にすること。なお、保証期間中の故障状況はその都度病院へ報告し承認を得ること。また、保証期間終了時に保証期間内で生じたトラブル・故障を一覧にし、電子データとして提出する
6-3	その他
6-3-1	24時間365日の連続運転を基本とし、システムを停止させるのは、ソフトウェア保守、DB再編成、ハード保守等の時のみとすること。
6-3-2	全ての業務サーバに無停電電源装置(UPS)を接続すること。長時間の停電対策としてUPSからサーバに対して自動でシャットダウン処理が行われること。
6-3-3	サーバ機器のリモート監視(自動通報)に必要な機器類を準備すること。(異常を感知した場合、自動で24時間運用のセンターに通知
6-3-4	サーバ機器の異常を検知した場合は、自動で24時間運用のセンターから担当SEへ連絡されること。また、遅滞なく報告すること。
6-3-5	サーバ容量・能力の管理として、CPU使用率、ディスクブロック使用率、ネットワーク使用率等の実時間監視機能を有すること。
6-3-6	各データベースは通常業務を止めることなくバックアップが行えること。
6-3-7	バックアップ媒体からの復元が検証された構成であること。
6-3-8	発生したエラーログの自動記録機能を有すること。
6-3-9	標準時刻を維持する当院タイムサーバと定期的に同期させること。
6-3-10	万一のシステム停止に備え、システム停止時の運用マニュアル案を提示すること。
6-3-11	サーバ電源操作において、停電時対応マニュアル、緊急時対応マニュアルを作成すること。
6-3-12	各サーバへのログインIDとパスワード一覧
6-3-13	更新済み最新のOSを備えること。
6-3-14	無停電電源装置(UPS)を接続すること。
6-3-15	保管されたログは、CD-R、DVD-R等の大容量メディアに出力することが可能なこと。
6-3-16	確定された法的に保存義務のあるデータは削除、修正操作によっても物理的に削除、変更されないシステムであること。修正操作では、データが追加変更され、修正履歴が保存されること。
6-3-17	情報漏洩防止のため、ウイルス対策用ソフト等による対策をおこなうこと。また、常に最新のバージョンにアップデートされていること。
6-3-18	多施設で起こったトラブル事例が整理されていること。トラブル発生時は全国の各拠点に通知し、同じ原因でトラブルが起らないように管理する体制であること。